

図画工作教育講座 11 《 デザイン 》

デザインと言えばポスターがその代表だが、



小学校の図画工作にデザインという概念はない。
生活に役立つものとして取り扱う。

だから、

文字をきれいに書くレタリングにこだわる必要はない。

文字がなくても伝わるものがあればよい。



後から文字を貼り付けてもよい。



デザイン的表現のメリットは、
絵画よりも制約が少ない。

多様な表現が可能。絵の具と木版画を組み合わせる。



単なる作品づくりではなく、子どもの生活の中で役立つ題材を設定する。

自分の作ったものが活かされているという認識が、
子どもの意欲→図工は楽しい→生涯学習として定着。



既成の教室案内板を児童作品にして意欲を高める。



レポート 大学構内の教室や施設の表示板をデザインする。



理科室」



踊り場（階段）



音楽室



国語科図書室

* デザインの講義で行った教室のマークをつくる活動が印象に残っている。それは実際に、子どもが作ったマークが、学校内で使用されていたからである。私が小学生の頃は、みんなで学校に花を植えたり動物の世話をしたり、学校やみんなのために行う活動が何だかんだで好きだった。

だから、子どもたちも、自分の作品が学校のために役立っていると感じるのは嬉しいことだろう。こんな授業を私も取り組んでいくことができれば、子どもたちはもっとつくる喜びを知ってくれるのではないかと考えた。